

公共事業事前評価調書(平成24年度新規事業)

所管課: 海岸防災課 担当班: 海岸班

事業名	仲田港海岸(仲田地区)高潮対策事業		事業区分	高潮対策	事業主体	沖縄県
事業箇所	伊是名村(仲田地区)					
事業の諸元	事業延長:937m(養浜670m、河口部護岸165m、胸壁102m)					
事業の概要	<p>当該箇所は、伊是名島・東側の仲田港に位置しており、背後には仲田集落の民家、公共施設等がある。護岸は整備されているものの、北側護岸は老朽化に加え必要天端高さが不足、南側護岸は前面の砂浜が浸食されたことによる防護機能が低下し、護岸必要高さが不足している状況である。</p> <p>そのまま放置した場合、台風時の波浪による越波や破堤により護岸背後地の民家や排水処理場などの公共施設が被災する恐れがある。そのため、高潮や波浪による災害を未然に防ぐための高潮対策事業を実施するものである。</p> <p>北側護岸については、平成22年～23年の北部振興(活性化)事業の実施、平成25年の社会資本総合交付金、南側護岸については、平成24年～26年の北部振興(連携促進)事業により実施するものである。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>当海岸を高潮対策事業により緊急的に整備し、高潮・波浪に対する防護機能を早期に向上させることで、背後の民家、公共施設等を高潮から守ることが可能となり、災害に強い地域の創出及び安全・安心な生活環境を形成することができる。</p> <p>また、養浜による面的防護方式の整備を行うことで、オカヤドカリの生息、ウミガメの産卵等の豊かな自然環境及び景観の復元と、伊是名城跡等の各観光拠点と連携した海岸利用の促進が可能となる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 24 年度		完了(予定)	平成 26 年度	
全体事業費	8	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C = 1.1	総便益: B	8.9 (億円)	総費用: C	8.1 (億円)	基準年 平成23年
		① 高潮被害低減額	8.9	① 総事業・維持管理	8.10	
		②		②		
		③		③		
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>琉球諸島沿岸海岸保全基本計画に位置づけされている。 (整備方針:環境・利用に配慮して波浪・高潮対策施設の再整備を図る)</p>					
環境への配慮	<p>護岸(養浜)による面的防護方式を行うことで、以下の環境・景観に配慮している。</p> <p>①国指定特別天然記念物のオカヤドカリ等の希少生物の生活環境の向上。 ②砂浜の消失によって見られなくなったウミガメの産卵が可能となる。 ③地域住民が長年要望している失われた砂浜の再生により、景勝地かつ観光地の伊是名城跡と一体となった自然景観の復元。</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>平成22年5月、伊是名村から県議会に整備要望の陳情があがる。また、平成23年3月、仲田区、伊是名村から整備要望の要請書があがる。</p>					
概要図(位置図)	<p>北部振興事業(活性化) H22～H23</p> <p>北部振興事業(連携促進) H24～H26</p> <p>社会資本整備総合交付金 H25</p> <p>事業箇所</p> <p>養浜</p> <p>北側護岸</p> <p>南側護岸</p> <p>1.2区 L=60m</p> <p>2.2区 L=70m</p> <p>岸壁別護岸 L=90m</p> <p>北側護岸 L=270m</p> <p>3.1区 (L=170m 養浜)</p> <p>4.1区 L=500m</p> <p>4.2区 L=102m 胸壁</p> <p>養浜</p> <p>社会資本整備総合交付金 H25</p> <p>開発許可区域</p> <p>養浜</p> <p>住宅林区域</p>					